

男女共同参画・働き方改革委員会企画 JOYFUL通信

◆◆◆ 旭川から ◆◆◆

相木整形外科医院院長

相木 比古乃

北海道旭川市で開業している相木と申します。平成9年に札幌医科大学を卒業しました。出身は京都ですが、たまたま札幌の大学に行き、結婚した夫が旭川出身でして、そしてたまたま夫の実家が整形外科でそのまま継いでしまいました。ちなみに夫は外科医です。

いわゆる継承開業をして7年ほど経ちました。開業前に勤めていた旭川厚生病院に今も週に一度は行き、手術もさせてもらっています。もともと手外科を目指しておりましたので手の小手術がメインです。手外科専門医ではないので何も言えないのですが、こうやって今でも手術をさせてもらえるというのは、ある程度専門性によるところは大きいと思っています。

私には子供が2人おりまして、どのお母さんもそうだと思いますが、毎日目の前の

ことをやるだけで精一杯です。私は早寝早起きをするようになってから、ペースがなんとか作れるようになりました。朝は4時半に起きてほぼすべての家事を仕事前にしてしまいます。仕事が終わって、夕食の支度をした後はすべて夫にまかせ、夜は9時に子供と一緒に寝てしまいます。自分の時間はありませんが、辛く思ったことは幸いありません。仕事もできて、なおかつ子供も育てることができて、これ以上何かを望んだり、逆に文句なんて言ったりしたら罰が当たるとしています。

子供ができてから、一番遠のいたのが学会です。整形外科専門医の継続の困難さもさることながら、純粋に学会に行きたいという気持ちが強くありますが、勉強会に行くにも事前の家族会議が必要ですし、ましてや全国学会となると1年前から宣言しな

いとまず行けません。そんな中、最近のオンライン学会は非常にありがたく拝聴させていただきました。コロナ禍の今、大変なことが多いですが、これだけは良かったと思っています。

開業医になって、診察する患者さんの数が一気に増えましたが、まだまだ知らないことだらけと痛感しています。なんとかせねばと色々調べ、今まであまり興味をもたなかった分野も面白く感じるようになりました。大方は辛かったり、しんどかったりしたことの方が多いのですが、ほんの些細なことでも患者さんが良くなっていく姿をみると、この仕事につけて良かったと思います。今後、何か環境が変わったとしても自分のできる範囲で、できる限りのことをやっていけたらと思っています。